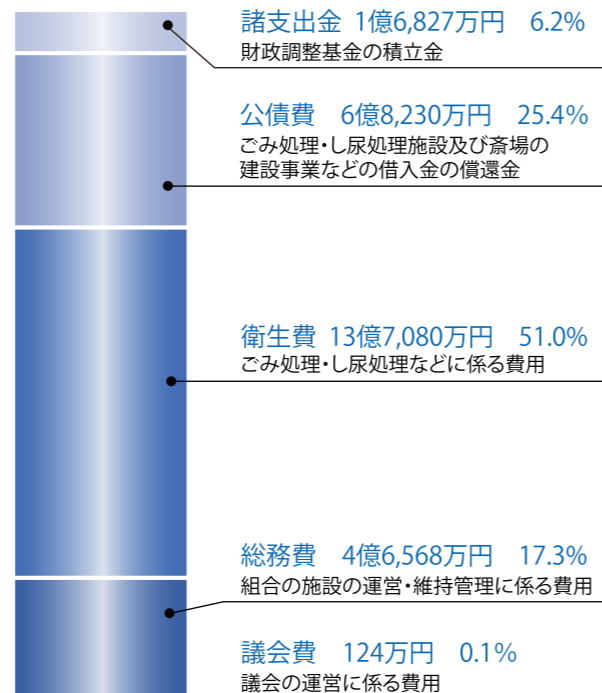
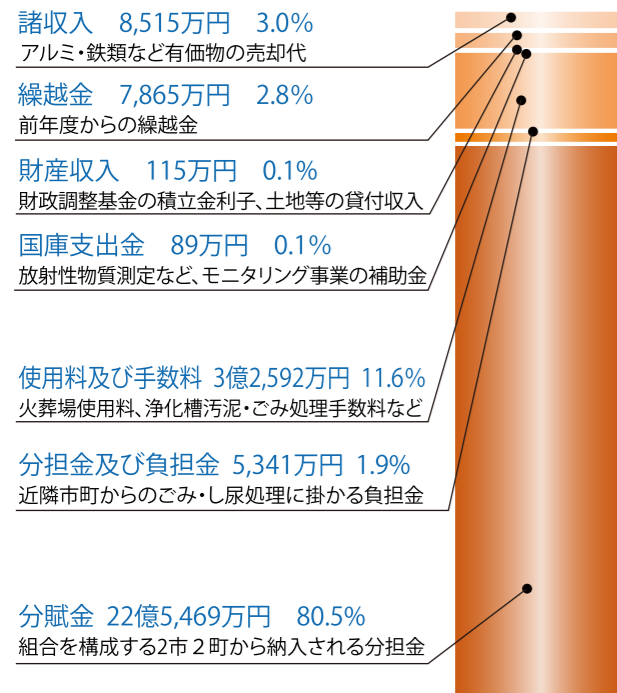


平成29年度 一般会計決算

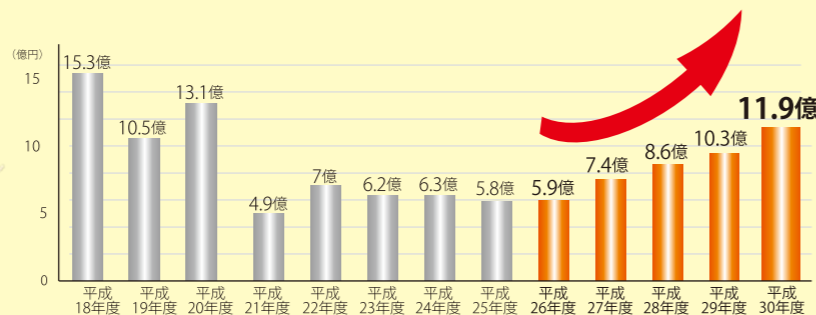


一般会計歳入
合計 27億9,986万円

一般会計歳出
合計 26億8,829万円

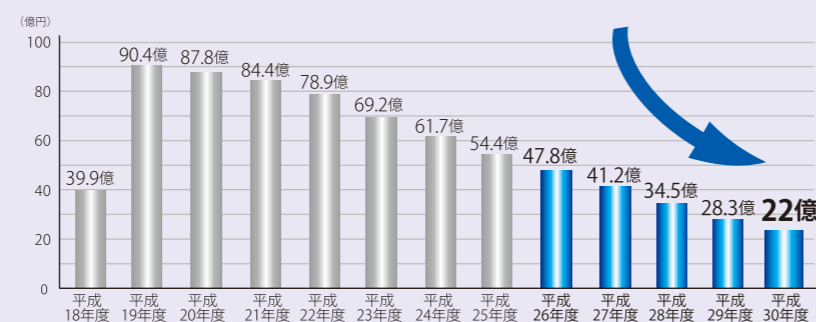
貯金 (財政調整基金) の推移

平成25年度⇒平成30年度
6億90万円増



借金 (組合債残高) の推移

平成25年度⇒平成30年度
32億3,464万円減



Q. 貯めたお金は
何に使われるの？



A. 旧ごみ処理施設の解体や、近い将来予想される老朽化した施設の建て替えや最終処分場の建設などのために使われます。そのために、徹底的な経費節減に取り組んで、基金として毎年積み立てをしています。



— 限りある資源 — 循環型社会をめざして

日頃より、住民の皆様におかれましては、さしま環境管理事務組合の運営に深いご理解とご協力を賜りまして、心よりお礼申し上げます。

当組合は、境町、五霞町、坂東市、古河市にて構成される一部事務組合で、ご家庭から排出されたごみやし尿の処理、最終処分場、火葬業務及び清水丘聖地霊園を運営しております。一部事務組合とは、複数の市町村が、行政サービスの一部を共同で行うことを目的として設置される組織で、ひとつの市町村では対応できない、または広域で取り組んだ方が効率的であるなどの理由により、地方自治法の規定に基づき設置されるものです。

日常生活から排出されたごみやし尿を適正に処理することは、皆様が清潔で安全に暮らしていただくために、一日として欠くことのできない重要なことです。地域の皆様の住みよい生活環境を確保しつつ、日々、業務の管理、運営に努めております。

また、限りある資源を大切に、環境保護を目指した循環型社会の構築は、日本のみならず、国際社会においても急務となっております。こうした中、当組合では、発生した汚泥の肥料化やリサイクル自転車の販売など、ごみの減量化やリサイクル促進のための取り組みを行っております。

さらに、さしまクリーンセンター寺久のリサイクル施設において、びんの処理ラインの増設工事を行ったことにより、それまで割れて埋立処分されていたびんの再資源化が可能となり、その資源化率は平成29年度で86%と、増設工事前の平成26年度の資源化率29%と比べると、57%増加しております。これにより、びんの埋立処分量が大幅に減少し、最終処分場の延命化にもつながっております。

こうした当組合の活動を住民の皆様にごく知っていただきたく、広報紙を通し情報を発信してまいりますので、今後ともどうぞ、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。



管理者 境町長 橋本 正裕

